

島根県西部で確認したウスバカマキリについて

皆木 宏明*

Notes on *Mantis religiosa* (Linnaeus) (Mantodea, Mantidae) found from western Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

2016年に島根県江津市において、ウスバカマキリ *Mantis religiosa* を確認したので報告する。確認場所は江津市後地町に位置する国道9号線沿いの道の駅で、建物の壁面にとまっていた成虫1♂(写真1)を発見した。確認日は2016年9月25日で、発見者は筆者である。

ウスバカマキリは国内では北海道南西部以南から本州、四国、九州、沖縄まで広く分布し、夏～秋に成虫が出現する。体長は♂52-57mm、♀59-60mmと中型のカマキリで、緑色型と褐色型があり、後翅は半透明で前脚基節基部付近に黒い楕円形紋(写真2)を有する特徴をもつ(岡田, 2008)。今回確認した個体は緑色型の個体であった。

本種は草地や河川敷、海岸の草原など開けた草地環境を好むとされるが、全国に分布するにも関わらず産地は局所的となっている。そのため本種は島根県レッドデータで準絶滅危惧種、環境省レッドデータでは情報不足に指定されている(島根県, 2014; 環境

省, 2015)。県内でも記録は乏しく稀な種とされ(林, 2015)、特に島根県西部での本種の記録としては、益田市神田町の高津川中流域の河川敷において、2000年10月に1♀の採集記録がある程度である(中村・松田, 2005)。

今回の発見場所の周辺は、国道が通り建物が散在するが海岸にも近く、砂丘環境から続く草地も点在し、この付近が本種の生息環境になっているものと思われる。なお、隣県の鳥取県でも分布は局所的とされるが、中海に隣接した干拓地に作られた米子水鳥公園(鳥取県米子市彦名新田)では多産するという(鳥取県, 2012)。

本種は、世界的に見ても南極大陸と南アメリカを除くすべての大陸で記録がある広域分布種であるにも関わらず、その生息地は局所的であるとされ国際自然保護連合(IUCN)のレッドリストで軽度懸念(Least



写真1 ウスバカマキリ



写真2 前脚基節にある黒色の楕円形紋

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

Concern : LC) に指定されている, その生態が興味深い種である (Battiston, 2016).

本種の生態には不明な点も多く, 県内の生息状況や情報が乏しいことから, 今後の解明が望まれる.

確認記録

確認日 2016年9月25日
確認種 ウスバカマキリ 1♂
学名 *Mantis religiosa*
発見場所 鳥根県江津市後地町

林 成多 (2015) 鳥根県の海岸に生息する昆虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号. 第14号:120pp.

環境省 (2015) レッドデータブック日本の絶滅のおそれのある野生生物2014 5昆虫類. ぎょうせい. 509pp.

中村慎吾・松田 賢 (2005) 鳥根県高津川の昆虫類, 2000年の調査結果 ホシザキグリーン財団研究報告第8号:99-172.

岡村正哉 (2008) フィールド版 昆虫ハンターカマキリのすべて. トンボ出版. 63pp.

鳥根県 (2014) 改訂しまねレッドデータブック (動物編) - 鳥根県の絶滅のおそれのある野生動植物 - 415pp.

鳥取県 (2012) レッドデータブックとっとり改訂版. 鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物. 337pp.

引用文献

Battiston, R. (2016) *Mantis religiosa*. The IUCN Red List of Threatened Species 2016